

令和4年度博士（後期）課程1年次における 進路意識と経済的支援状況に関する調査 [トップページ]



科学技術・学術政策研究所 National Institute of Science and Technology Policy

(1)本調査の目的

本調査は文部科学省 科学技術・学術政策研究所 (NISTEP) が、博士（後期）課程の1年次の方を対象に進路意識や経済的支援の状況等を尋ねるものです。[\[日本語版調査票のPDF表示\]](#) 進路意識に関する回答情報は、今後の博士（後期）課程のキャリア支援等に活用いたします。また、経済的支援に関する回答情報は「[第6期科学技術・イノベーション基本計画](#)」(令和3年3月閣議決定)に記載された博士（後期）課程への経済的支援の拡充に関する基礎資料としても活用いたします。本調査結果は、科学技術・学術政策研究所により調査資料として公開するとともに、今後の大学院および博士課程学生への支援策を検討するための基礎データとして活用していく予定です。

(2)調査実施体制と情報共有体制

本調査は文部科学省 科学技術・学術政策研究所が調査主体となって実施します。また、調査対象者が博士（後期）課程に所属している各大学事務局とも回答内容の情報共有が行われます。ただし、各大学事務局との情報共有は、単科大学や規模の小さい大学院など実務面での分担が難しい場合を除いて、通常業務において博士課程学生個人々と接することのない大学本部等の職員のみで情報管理していただくことを大学事務局にお願いしています。

(3)本調査の対象者と並行実施している調査

本調査の対象者は令和4年度（2022年4月以降）において、日本国内の大学における博士（後期）課程に進学した全ての方です。ただし、「調査時点までに博士（後期）課程を中途退学した方」および「入学後の全期間にわたって休学されている方」は除きます。一方で、令和3年度（2021年4月～2022年3月）に博士（後期）課程に在学した方（調査時点における修了者・満期退学者含む）に関しては、別途「[博士（後期）学生の経済的支援状況に係る調査](#)」を実施していますので、そちらの調査にご回答ください。大学事務局から、回答開始に必要な調査用の大学・研究科IDを受け取っておらず、調査用の大学・研究科IDが不明の場合は、調査実施者（[お問い合わせ用フォーム](#)）または調査依頼を行った大学事務局にご連絡ください。

(4)回答情報の利用目的

文部科学省 科学技術・学術政策研究所は、回答情報に含まれる個人情報について、以下の目的のために利用します。

- [1] 博士課程在籍者、修了者の経済的支援等に関する統計の作成と公表
- [2] 博士課程在籍者、修了者の経済的支援等に関する分析・学術研究
- [3] 博士課程在籍者・修了者がより充足・活躍するための施策・取り組みの企画・立案
- [4] 科学技術・学術政策研究所が運営する博士人材データベース（JGRAD）への情報の転送 [本調査の回答終了後に回答者によって別途、承諾があった場合のみ]
- [5] 上記 [1] [2] [3] [4] に関する各種調査、依頼、情報提供のための通信・連絡（本調査の回答に不整合・不備があった場合の確認連絡を含む）

上記[1]の統計および[2]の分析結果に関して、個人が特定されるような情報は一切公開されません。

上記[4]の博士人材データベース（JGRAD）に関しては、「[博士人材データベース（JGRAD）について](#)」をご参照ください。

(5)回答情報に関する安全のための措置

文部科学省は、個人情報について、個人情報の保護に関する法律、その他関係する法令に基づき、適切に取り扱うものとし、個人情報の漏えい、滅失又はき損の防止その他の個人情報の適切な管理のために必要な措置を講じるものとします。

(6)英語版ウェブ調査票および回答再開・修正用フォーム

本調査のウェブ調査票は、日本語と英語で用意しています。英語版ウェブ調査票で回答したい場合は、下記のURLから回答を開始してください。

(If you would like to answer to the English web survey form, please start your answer from the following URL.)

英語版ウェブ調査票（トップページ） / English web survey form : <https://hakase.nistep.go.jp/m/fe>

本調査は回答再開・回答修正ページで「調査用の大学・研究科ID」「回答者コード」「メールアドレス」でログインすることで回答の再開、修正ができます。なお「回答者コード」は本トップページの下記の欄に必要事項を記入し、「回答を開始する」のボタンをクリックすると自動的に発行されます。発行された「回答者コード」は、調査票ウェブページの右上に表示されます。加えて、回答開始時に本ページで記入していただくメールアドレスに「回答者コード」が記載された自動送信メールが送付されます。日本語版ウェブ調査票の回答の再開、修正を行う場合は、下記のURLから開始してください。

過去の回答の再開・更新用フォーム : <https://hakase.nistep.go.jp/m/refj>

なお、回答再開・回答修正のページは日本語版ウェブ調査票、英語版ウェブ調査票で分かれています。英語版ウェブ調査票で回答開始した場合は、英語版の回答再開・修正フォームへログインする必要があります。

(7)本調査の回答期限

「令和4年度 令和4年度 博士（後期）課程1年次における進路意識と経済的支援状況に関する調査」のウェブ調査の回答期限は、2023年1月23日（月）となります。

(8)調査協力をお願い

「(1)本調査の目的」に示したように、本調査は大学院・博士課程学生への経済的支援の実態把握と拡充を目指して実施しています。「(3)本調査の対象者」に示した調査対象者に該当し、調査趣旨および情報の取扱いにご了解いただいた方は、ご多用中とは存じますが、本ページの下記の欄に大学事務局または調査実施者から受領した調査用の大学・研究科IDを記入し、ウェブ調査にご回答いただきますようお願いいたします。なお、このページにアクセスしたURLやQRコードによって、調査用の大学・研究科IDがもともと記入されている場合は、記入を変更せず回答を開始してください。

調査用の大学・研究科ID (必須入力、半角英数のみ)

学籍番号/学生証ID (必須入力、半角英数のみ)

氏名 (必須入力)

メールアドレス (必須入力、メールアドレス形式)

※下側のボタンをクリックして回答開始した時点で、記入したメールアドレスに回答確認・回答再開に必要な情報が送信されます。

回答を開始する

令和4年度博士（後期）課程1年次における 進路意識と経済的支援状況に関する調査 [1]



科学技術・学術政策研究所 National Institute of Science and Technology Policy



回答者コード：

あなたの令和4年度の博士課程での状況ついて、おたずねします。

[Q1-1] あなたが博士（後期）課程に入学した令和4年度の月を選択してください。

選択してください (必須選択)

※ 5年一貫制の博士課程の場合は、3年次への進級月を選択してください。

[Q1-2] あなたが在籍している博士課程は、入学前の最終学歴に相当する学部または修士課程と同じ大学ですか？

- (1) 最終学歴と同じ大学
 (2) 最終学歴と異なる大学
(必須選択)

[Q1-3] 博士課程における指導教員（最も指導を受ける頻度が高いと見込まれる教員）は、入学前の最終学歴における指導教員と同一人物ですか？

- (1) 最終学歴における指導教員と同一人物
 (2) 最終学歴における指導教員と異なる人物
(必須選択)

[Q1-4] あなたは、令和4年度において留学生に該当しましたか。

- (1) 日本国外の大学を卒業した留学生であった（大学院から日本に来た）
 (2) 日本国内の大学を卒業した留学生であった（大学の学部から日本に来た）
 (3) 留学生ではない
(必須選択)

※ 「留学生」とは、日本の大学・大学院に留学する目的を持って入国した外国人学生のことです。

すなわち、出入国管理及び難民認定法第2条の2別表第1条の4に定める「留学」による在留資格によって入国した者のことです。

なお、同法における他の在留資格によって入国し、その後所定の手続きを経て上記に定める資格に変更することを許された者も「留学生である」をお選びください。

[Q1-5] あなたは、令和4年1月1日時点において社会人学生でしたか。

- (1) 社会人学生（職に就いている）であった
 (2) 社会人学生（退職者または主婦・主夫）であった
 (3) 社会人学生ではなかった
(必須選択)

※ この設問における「社会人」は、令和4年1月1日時点で、

① 職に就いている者（給料、賃金、その他の経常的な収入を得る仕事に現に就いている者）、

② 給料、賃金、その他の経常的な仕事を得る仕事から既に退職した者、

③ 主婦・主夫

のいずれかに該当する者を指します。なお、臨時的な収入を得る仕事であり、雇用期間が1年未満又は雇用期間の長さに関わらず短時間の勤務（アルバイト・パート等）については「社会人就業」に該当しないものとします。

次のページへ

[Q1-1：選択肢]

- | |
|--------------------|
| (1) 令和4年（2022年）4月 |
| (2) 令和4年（2022年）5月 |
| (3) 令和4年（2022年）6月 |
| (4) 令和4年（2022年）7月 |
| (5) 令和4年（2022年）8月 |
| (6) 令和4年（2022年）9月 |
| (7) 令和4年（2022年）10月 |
| (8) 令和4年（2022年）11月 |
| (9) 令和4年（2022年）12月 |
| (10) 令和5年（2023年）1月 |

令和4年度博士（後期）課程1年次における
進路意識と経済的支援状況に関する調査 [1A]



科学技術・学術政策研究所

National Institute of Science and Technology Policy



回答者コード：

令和4年11月1日時点、社会人で職に就いていた方におたずねします。

[Q1A-1] 令和4年度における、あなたの雇用先におけるサービスの扱いについて、該当する番号をお選びください。

選択してください (必須選択)

[Q1A-2] 博士課程在学を契機とした雇用先からの基本給の取り扱いの状況について、下記の選択肢から該当する番号をお選びください。

選択してください (必須選択)

[Q1A-3] 上記[Q1A-2]において「(1) 変化なし」「(2) 減額され支給」とお答えになった方におたずねします。
あなたが博士（後期）課程へ入学後、雇用先から得られた月間平均の収入額が該当する範囲をお答えください。

選択してください

次のページへ

[Q1A-1：選択肢]

- (1) 有給休暇
- (2) 研修扱い
- (3) 無給休暇
- (4) 時間短縮勤務
- (5) 通常と変わらない（裁量労働、または夜間や休日に通学）
- (6) 休職
- (7) その他

[Q1A-2：選択肢]

- (1) 変化なし
- (2) 減額され支給
- (3) 全く支給されない

[Q1A-3：選択肢]

- (1) 15万円未満
- (2) 15万円以上30万円未満
- (3) 30万円以上45万円未満
- (4) 45万円以上

令和4年度博士（後期）課程1年次における 進路意識と経済的支援状況に関する調査 [2]



科学技術・学術政策研究所

National Institute of Science and Technology Policy



回答者コード：

あなたの博士（後期）課程の研究環境への所感を教えてください。

[Q2-1] あなたが博士（後期）課程進学を決めた時に予想していた研究環境と比較して、研究環境の各側面および総合的な研究環境に関して当てはまる所感を選択してください。

- | | | |
|-------------|----------|--------|
| 研究時間の確保 | 選択してください | (必須選択) |
| 研究指導の機会（頻度） | 選択してください | (必須選択) |
| 研究指導の質 | 選択してください | (必須選択) |
| 教員以外との研究交流 | 選択してください | (必須選択) |
| 研究施設、設備 | 選択してください | (必須選択) |
| 経済的支援 | 選択してください | (必須選択) |
| 総合的な研究環境 | 選択してください | (必須選択) |

あなたの博士（後期）課程修了に関する予測および進路意識を教えてください。

[Q2-2] あなたが在籍する博士（後期）課程において、あなたが博士号を取得する可能性が最も高いと考えられる年度を選択してください。

選択してください (必須選択)

[Q2-3] あなたが博士課程修了後に希望する就職先・専門職について、最も当てはまるものについて選択してください。

選択してください (必須選択)

※医師として病院、弁護士として弁護士法人に勤務するなど、国家資格を持つことが希望する勤務の必須条件となる場合は「(7) 国家資格に基づく専門職（医療専門職、法務専門職等）」を選択してください。

[Q2-4] あなたが博士課程修了後に希望する教育研究職・非教育研究職の割合について、最も当てはまるものについて選択してください。

選択してください (必須選択)

※「教育研究職」とは、教育・研究機関の教職員、研究職公務員、民間企業の研究従事者を指します。「非教育研究職」とは、専門・技術職、事務職を含む総合職、営業職等を指します。

[Q2-5] 現時点で予想する「博士課程修了から3年後において、あなたが日本国内に居住している見込み」に関して、最も近い割合を選択してください。

選択してください (必須選択)

更新する →

[Q2-1：選択肢]

- (1) とても悪い
- (2) やや悪い
- (3) 概ね予想通り
- (4) やや良い
- (5) とても良い

[Q2-2：選択肢]

- (1) 令和5年度（2023年度）
- (2) 令和6年度（2024年度）
- (3) 令和7年度（2025年度）
- (4) 令和8年度（2026年度）
- (5) 令和9年度（2027年度）
- (6) 令和10年度（2028年度）
- (7) 令和11年度以降（2029年度以降）
- (8) いつか分からない
- (9) 修了予定はない（留学する予定など）

[Q2-3：選択肢]

- (1) 大学（短大、高専を含む）
- (2) 大学以外の教育機関
- (3) 公的機関（研究開発法人、公務員等）
- (4) 教育機関・公的機関以外の非営利団体
- (5) 民間企業（自ら起業する場合を除く）
- (6) 起業、個人事業主（専門職を除く）
- (7) 国家資格に基づく専門職（医療専門職、法務専門職等）
- (8) その他の就職先・専門職以外
- (9) 未定、分からない

[Q2-4：選択肢]

- (1) 強く教育研究職を希望する
- (2) やや教育研究職を希望する
- (3) どちらでも良い
- (4) やや非教育研究職を希望する
- (5) 強く非教育研究職を希望する
- (6) 分からない、決められない

[Q2-5：選択肢]

- (1) ほぼ確実に日本国内（90%～100%）
- (2) 日本国内の居住見込みは8割程度（70%～90%）
- (3) 日本国内の居住見込みは6割程度（50%～70%）
- (4) 日本国内の居住見込みは4割程度（30%～50%）
- (5) 日本国内の居住見込みは2割程度（10%～30%）
- (6) ほぼ確実に海外（0%～10%）
- (7) 全く見当がつかない

令和4年度博士（後期）課程1年次における 進路意識と経済的支援状況に関する調査 [3]



科学技術・学術政策研究所 National Institute of Science and Technology Policy



回答者コード：

TA（ティーチング・アシスタント）・RA（リサーチ・アシスタント）の実施状況について、おたずねします。

[Q3-1] あなたは、令和4年度にTAまたはRAとして給与・謝金の受給を受けていましたか。

- (1) TA業務とRA業務の両方に従事していた
- (2) TA業務のみに従事していた
- (3) RA業務のみに従事していた
- (4) TA業務とRA業務のどちらにも従事していなかった

（必須選択）

※本調査における「給与」とは、労働等に対して支払われる対価報酬を指します。

TA（ティーチング・アシスタント）とは、学部学生に対するチュータリング（助言）や実験、実習、演習等の教育補助業務（具体的には、演習のディスカッションリーダー、レポート・試験等の採点など）を行い、これに対する手当を支給される大学院学生を指します。

RA（リサーチ・アシスタント）とは、大学等が行う研究プロジェクト等の研究補助業務を行い、これに対する手当を支給される大学院学生を指します。

役別の肩書きがTA、RAでなかった場合でも、それに準じる業務内容で金銭的対価を得ていた場合は「従事していた」を選択してください。

[Q3-2] 上記の[Q3-1]において「TA業務に従事」または「RA業務に従事」とお答えになった方におたずねします。

あなたがTA業務・RA業務として従事した期間における月間平均の従事時間および受給額を整数で入力してください。

なお、裁量労働制の業務が含まれる場合は実際の従事時間を記入し、チェックを入れてください。

TA従事時間 約 時間（半角英数のみ） 裁量労働に該当 TA受給額 約 円（半角数字のみ）
RA従事時間 約 時間（半角英数のみ） 裁量労働に該当 RA受給額 約 円（半角数字のみ）

[Q3-3] 上記の[Q3-1]において「TA業務に従事」とお答えになった方におたずねします。

あなたのTA業務の内容について、下記から該当する全てにチェックしてください。

- (1) 実験・実習の準備
- (2) 実験・実習時の学生への指導・助言
- (3) 学生への講義の実施
- (4) セミナーや演習などのコメント・指導
- (5) レポートや課題・試験などの採点・評価
- (6) 授業等への出席の記録
- (7) 学生からの質問対応
- (8) その他(具体的に)

「(8) その他」にチェックした方は具体的な内容を記載してください。

[Q3-4] 上記の[Q3-1]において「RA業務に従事」とお答えになった方におたずねします。

あなたのRA業務が関連する研究について、下記から該当する全てにチェックしてください。

- (1) 基盤的経費、大学の自主財源による研究
- (2) 国からの競争的な経費による研究
- (3) 民間団体（企業等）との共同研究
- (4) 研究開発機関との共同研究
- (5) 受託研究
- (6) 不明
- (7) その他(具体的に)

「(7) その他」にチェックした方は具体的な内容を記載してください。

次のページへ

令和4年度博士（後期）課程1年次における 進路意識と経済的支援状況に関する調査 [4]



科学技術・学術政策研究所

National Institute of Science and Technology Policy



回答者コード：

アルバイトまたは副業の実施状況について、おたずねします。

[Q4-1] あなたは、令和4年度の博士（後期）課程入学後にアルバイトまたは副業をしていましたか。

- (1) アルバイトまたは副業をしていた
 (2) アルバイトも副業もしていなかった
(必須選択)

※本調査におけるアルバイトは、一つ前の調査ページでたずねたTA業務、RA業務を含まないものとします。
本調査における副業は、労働を伴う副業のみを指し、投資等を含まないものとします。

[Q4-2] 上記の[Q4-1]で「(1) アルバイトまたは副業をしていた」と回答した方におたずねします。

あなたが行っていたアルバイトまたは副業の種類を、下記から該当する全てにチェックしてください。

- (1) 塾・予備校の講師・家庭教師・通信教育の添削
 (2) 一般事務
 (3) 販売・飲食業
 (4) 宿直・警備・工事・交通誘導・工場勤務
 (5) 上記以外で、自らの専門的知識を活かした業務（執筆・翻訳・通訳・編集・非常勤講師等）
 (6) その他

[Q4-3] 上記の[Q4-1]で「(1) アルバイトまたは副業をしていた」と回答した方におたずねします。

あなたがアルバイトまたは副業を行った理由を下記から該当する全てにチェックしてください。

- (1) 生活費を稼ぐため
 (2) 勉強費を稼ぐため
 (3) 学生生活を楽むため
 (4) 社会経験のため
 (5) その他

[Q4-4] 上記の[Q4-1]で「(1) アルバイトまたは副業をしていた」と回答した方におたずねします。

アルバイトまたは副業に、費やした月間平均時間および得られたおおよその月間収入額をお答えください。

なお、成果報酬型/裁量労働制の業務が含まれる場合は実際の従事時間を入力し、チェックを入れてください。

従事時間 約 時間（半角英数のみ） 成果報酬型/裁量労働に該当 受給額 約 円（半角数字のみ）

次のページへ

令和4年度博士（後期）課程1年次における 進路意識と経済的支援状況に関する調査 [5]



科学技術・学術政策研究所

National Institute of Science and Technology Policy



回答者コード：

あなたが受けていた経済的支援（授業料減免、奨学金等）について、おたずねします。

[Q5-1] あなたは、令和4年度に授業料等の減免を受けていますか。

- (1) 減免を受けている
 (2) 減免を受けていない
(必須選択)

[Q5-2] 上記の[Q5-1]で「(1) 減免を受けている」とお答えいただいた方におたずねします。
令和4年度における授業料等の減免額をお答えください。

円（半角数字のみ）

[Q5-3] あなたは、令和4年度に日本学生支援機構の奨学金を受けていますか。

- (1) 日本学生支援機構の奨学金を受けている
 (2) 日本学生支援機構の奨学金を受けていない
(必須選択)

[Q5-4] 上記の[Q5-3]で「(1) 日本学生支援機構の奨学金を受けている」とお答えいただいた方におたずねします。
日本学生支援機構の奨学金制度からの令和4年度の貸与額（2023年3月末までの予定を含む）をお答えください。

円（半角数字のみ）

[Q5-5] あなたは、令和4年度に上記の「授業料等の減免」および「日本学生支援機構の奨学金」以外の経済的支援（奨学金等）を受けていましたか。

- (1) 受けていた
 (2) 受けていなかった
(必須選択)

[次のページへ](#)

令和4年度博士（後期）課程1年次における 進路意識と経済的支援状況に関する調査 [5A]



科学技術・学術政策研究所

National Institute of Science and Technology Policy



回答者コード：

[Q5A-1] 令和4年度に受けていた「授業料等の減免」および「日本学生支援機構の奨学金」以外の経済的支援（奨学金等）についてお尋ねします。
受けていた経済的支援について「経済的支援の種別」「入学後の月間平均受給額」を主なもの（最大で5つ）お答えください。
なお、本調査における「経済的支援の種別」は下記の表の通りです。

本調査における「経済的支援の種別」

| | |
|----------------------------|----------------------------|
| (1) 大学独自の奨学金制度（貸与型） | (2) 大学独自の奨学金制度（給付型） |
| (3) 博士課程教育リーディングプログラム | (4) 卓越大学院プログラム |
| (5) 大学フェロシップ創設事業 | (6) 次世代研究者挑戦的研究プログラム |
| (7) 日本学術振興会特別研究員（DC） | (8) 日本学術振興会外国人特別研究員 |
| (9) 日本政府国費留学生 | (10) 外国政府国費留学生 |
| (11) 民間団体（企業等）等の奨学金制度（貸与型） | (12) 民間団体（企業等）等の奨学金制度（給付型） |
| (13) その他の経済的支援（貸与型） | (14) その他の経済的支援（給付型） |

支援1種別 支援1の入学後の月間平均受給額 約 円（半角数字のみ）
支援2種別 支援2の入学後の月間平均受給額 約 円（半角数字のみ）
支援3種別 支援3の入学後の月間平均受給額 約 円（半角数字のみ）
支援4種別 支援4の入学後の月間平均受給額 約 円（半角数字のみ）
支援5種別 支援5の入学後の月間平均受給額 約 円（半角数字のみ）

[Q5A-2] 上記の[Q5A-1]の支援の種別に「(13) その他～（貸与型）」または「(14) その他～（給付型）」で回答された場合は支援内容を記入してください。

(任意入力)

[次のページへ](#)

[Q5A-1：選択肢]

- (1) 大学独自の奨学金制度（貸与型）
- (2) 大学独自の奨学金制度（給付型）
- (3) 博士課程教育リーディングプログラム
- (4) 卓越大学院プログラム
- (5) 大学フェロシップ創設事業
- (6) 次世代研究者挑戦的研究プログラム
- (7) 日本学術振興会特別研究員（DC）
- (8) 日本学術振興会外国人特別研究員
- (9) 日本政府国費留学生
- (10) 外国政府国費留学生
- (11) 民間団体（企業等）等の奨学金制度（貸与型）
- (12) 民間団体（企業等）等の奨学金制度（給付型）
- (13) その他の経済的支援（貸与型）
- (14) その他の経済的支援（給付型）

令和4年度博士（後期）課程1年次における 進路意識と経済的支援状況に関する調査 [6]



科学技術・学術政策研究所 National Institute of Science and Technology Policy



回答者コード：

あなたが令和4年度に在籍している博士（後期）課程について、おたずねします。

[Q6-1] あなたが令和4年度に在籍している博士（後期）課程の研究科名を入力してください。

(必須入力)

[Q6-2] あなたが令和4年度に在籍している博士（後期）課程の研究科の専攻名を入力してください。

(必須入力)

あなたについて、おたずねします。

[Q6-3] あなたの生年を西暦4桁で記入してください。

(半角数値のみ、必須入力)

[Q6-4] あなたの性別を選択してください。

選択してください ▾

[Q6-5] あなたの直近の研究分野として、最もあてはまるものを下記の表から一つ選択してください。

選択してください ▾ (必須入力)

本調査における研究分野

| A:人文科学 | B:社会科学 | C:理学 | D:工学 | E:農学 |
|--------------|--------------|------------|-------------|------------|
| A01:文学 | B01:法学・政治学 | C01:数学 | D01:機械工学 | E01:農学 |
| A02:史学 | B02:商学・経営学 | C02:物理学 | D02:電気工学 | E02:農芸化学 |
| A03:哲学 | B03:経済学 | C03:化学 | D03:通信工学 | E03:農業工学 |
| A04:語学 | B04:社会学 | C04:生物 | D04:土木・建築工学 | E04:農業経済学 |
| A05:文化 | B05:国際関係学 | C05:地学 | D05:応用化学 | E05:林学 |
| A06:人文科学-その他 | B06:社会科学-その他 | C06:理学-その他 | D06:応用理学 | E06:獣医学 |
| | | | D07:原子力工学 | E07:畜産学 |
| | | | D08:金属工学 | E08:水産学 |
| | | | D09:航空工学 | E09:環境学 |
| | | | D10:経営工学 | E10:農学-その他 |
| | | | D11:情報学 | |
| | | | D12:デザイン工学 | |
| | | | D13:社会工学 | |
| | | | D14:工学-その他 | |

| F:保健 | G:家政 | H:教育 | I:芸術 | J: その他・融合分野 |
|----------------|------------|------------|------------|----------------|
| F01:基礎医学 | G01:家政学 | H01:教育学 | I01:美術 | J01:心理学 |
| F02:臨床医学 (内科学) | G02:食物学 | H02:教員養成 | I02:デザイン | J02:自然科学内融合 |
| F03:臨床医学 (外科学) | G03:被服学 | H03:体育学 | I03:音楽 | J03:社会・自然科学融合 |
| F04:臨床医学 (その他) | G04:住居学 | H04:教育-その他 | I04:芸術-その他 | J04:人文・社会科学融合 |
| F05:社会医学 | G05:児童学 | | | J05:その他・融合-その他 |
| F06:歯学 | G06:家政-その他 | | | |
| F07:口腔内科学 | | | | |
| F08:基礎薬学 | | | | |
| F09:臨床薬学 | | | | |
| F10:看護学 | | | | |
| F11:栄養学 | | | | |
| F12:保健-その他 | | | | |

次のページへ

[Q6-4 : 選択肢]

- (1) 男性
(2) 女性

令和4年度博士（後期）課程1年次における進路意識と経済的支援状況に関する調査
[調査回答の完了御礼と博士人材データベースに関するお願い]



科学技術・学術政策研究所
National Institute of Science and Technology Policy



「令和4年度博士（後期）課程1年次における進路意識と経済的支援状況に関する調査」へのご回答ありがとうございました。
調査内で入力いただいたメールアドレスに、回答完了の自動送信メールを送信しました。

博士人材データベースへの情報転送と登録に関するご承諾のお願い

文部科学省 科学技術・学術政策研究所では、博士課程修了者のキャリアパスや博士人材の状況を把握するために博士人材データベース（JGRAD）を運営しています。博士人材データベースにおいて収集したデータは集計して科学技術・学術政策研究所の報告書として公開、政策形成の基礎資料として活用されています。また、近い将来において博士人材データベースのアクティブユーザーを対象に、博士人材のネットワーク構築やキャリア支援に活用していただけるオンラインコミュニティを構築予定です。

[【説明資料】博士人材データベース（JGRAD）および博士人材向けSNSについて\[12月22日版\]](#)

博士人材データベースへの登録および情報付加のため、本調査結果の情報転送にご承諾いただきますようお願いいたします。

[QJ-1] あなたの博士人材データベース（JGRAD）のアカウント発行状況を選択してください。

選択してください

[QJ-2] 今回のあなたの調査回答を博士人材データベース（JGRAD）に転送し、アカウントの発行または情報の補完をしてもよろしいでしょうか。

選択してください

※ご承諾いただけた方でJGRADアカウント未発行の方には、2023年3月頃にJGRADのログインIDとパスワードをメールアドレスへ送付予定です。
※アカウント発行状況が分からずにご承諾いただいた方には、JGRAD上の情報と照合してメールアドレスへご連絡いたします。

博士人材データベース（JGRAD）に関する情報送信

[QJ-1：選択肢]

- (1) 発行している
- (2) 発行しているか分からない
- (3) 発行していない

[QJ-2：選択肢]

- (1) アカウント発行・情報転送を承諾する
- (2) アカウント発行・情報転送を断る

令和4年度博士（後期）課程1年次における進路意識と経済的支援状況に関する調査
（日本語版ウェブ調査票の回答の再開・更新）



科学技術・学術政策研究所
National Institute of Science and Technology Policy

過去の回答の再開・更新用フォーム（日本語版ウェブ調査票）

ここは「博士（後期）課程1年次における進路意識と経済的支援状況に関する調査」の日本語版ウェブ調査票の回答の再開、修正を行うためのログインページです。日本語版ウェブ調査票の回答と再開、更新したい方は、下記の欄に「大学・研究科コード」「過去の回答者コード」「記入したメールアドレス」を入力をしてください。

初回の回答をこのページから始めることはできません。本調査に初めて回答をする場合は、下記のURLの調査トップページから回答を開始してください。

初回の回答開始用ページ（日本語）：<https://hakase.nistep.go.jp/m/di>

英語版のウェブ調査票で回答した場合は、ここから回答の再開や修正はできません。下記のURLの英語版ウェブ調査票の回答の再開・更新ページへ移動してください。

If you have answered to the English web survey form, you cannot resume or modify your answers from here.

Please go to the following URL to resume or modify your answers of the English web survey form.

Form for resuming/correction of past English response: <https://hakase.nistep.go.jp/m/reie>

| | | |
|-----------------|----------------------|------------------|
| 調査用の大学・研究科ID | <input type="text"/> | （必須入力、半角英数のみ） |
| 過去の回答における回答者コード | <input type="text"/> | （必須入力、半角英数のみ） |
| 記入したメールアドレス | <input type="text"/> | （必須入力、メールアドレス形式） |

回答を再開・更新する

令和4年度博士（後期）課程1年次における進路意識と経済的支援状況に関する調査
（日本語版ウェブ調査票の回答の再開・更新）



科学技術・学術政策研究所

National Institute of Science and Technology Policy



回答者コード：

記入した大学・研究科コード、学籍番号、氏名、メールアドレスに訂正があれば記載してください。

[Q0-1] 記入した調査用の大学・研究科コードに誤りがあれば、改訂してください。

(必須入力、半角英数のみ)

[Q0-2] 令和4年度に在籍している博士（後期）課程の学籍番号/学生証IDに誤りがあれば、修正してください。

(必須入力、半角英数のみ)

[Q0-3] あなたの氏名に記入の誤りがあれば、改訂してください。

(必須入力)

[Q0-4] あなたの電子メールアドレスに改訂があれば、入力してください

(必須入力、メールアドレス形式)

回答内容の確認・訂正をする